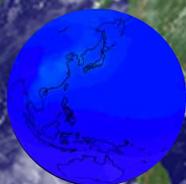


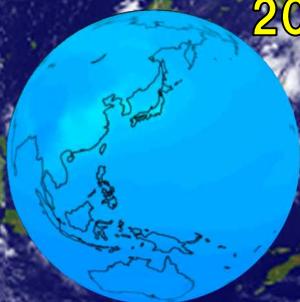
令和4年度

入場無料

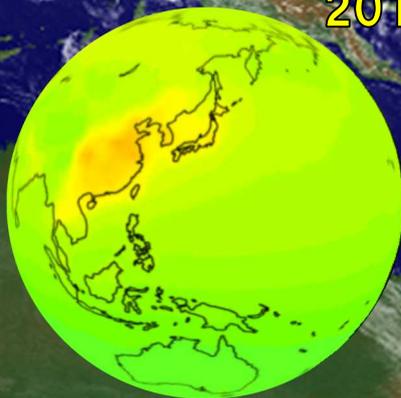
気候講演会



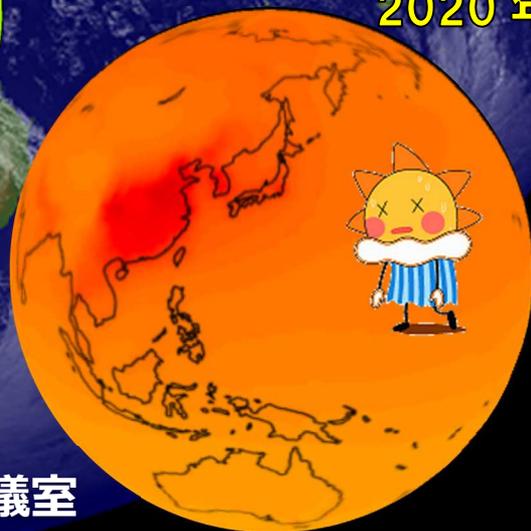
1990年



2000年

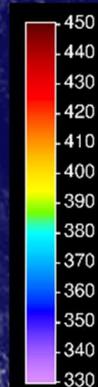


2010年



2020年

二酸化炭素濃度 (ppm)



【問い合わせ先】
石垣島地方気象台
電話：82-2170

開催日時：令和5年2月10日（金）
18時30分～20時30分

開催場所：沖縄県八重山合同庁舎 2階大会議室

【演題①】

『地球温暖化に伴う異常気象リスクの増加に気象・気候情報で適応する』

気象庁大気海洋部気候情報課予報官 前田 修平

【演題②】

『八重山の海の変化と私たちにできること』

沖縄県地球温暖化防止活動推進員 吉田 稔

【共催】石垣島地方気象台、沖縄県八重山事務所

【後援】石垣市、石垣市教育委員会、地球ウォッチャーズ—気象友の会—

石垣島でも地球温暖化が進んでいる！？

石垣島地方気象台の観測によると、石垣島の年平均気温は20世紀の100年の間に1.2度上昇しており、温暖化の傾向が出ていたことがわかりました。

私たちの暮らしへの影響は？

この急激な気候の変化は、私たちの暮らしにどのような影響があるのでしょうか。どのように適応すればよいのでしょうか。一緒に考えてみませんか？

～～講演概要～～

「地球温暖化に伴う異常気象リスクの増加に気象・気候情報で適応する」



気象庁 大気海洋部 気候情報課
予報官

(まえだしゅうへい)
前田 修平

近年、地球温暖化の進展に伴い、顕著な猛暑や大雨などの頻度が増加しています。また、海面水温が異常に高い状態である、いわゆる海洋熱波も度々発生しています。今後もこのような異常気象リスクの増加は続くと予測され、我々はこの事態に“適応”する必要があります。そのための手段の一つとして、気象・気候情報を活用して頂きたい、と気象庁は考えています。

講演では、まず、地球温暖化による異常気象リスク増加のメカニズム、実態、と今後の予測を簡単に説明し、次に“適応”に活用頂きたい気象庁の気象・気候情報について、農業分野での具体的な活用事例なども含めて紹介します。

「八重山の海の変化と 私たちにできること」



沖縄県
地球温暖化防止活動推進員

(よしだみのる)
吉田 稔

八重山のサンゴ礁は、世界中の多くの人を魅了し、そこで生活する私たちの生活の糧の根幹となっています。しかし、海の中では40年前と比べるとサンゴ類の被度（生物量）が半分以下になっています。そしてガレ場のような荒廃している海域も多くなっています。その原因は地球温暖化とか気候変動とかになっていますが、すべて私たちが関係した影響で悪くなっています。私たちが汚してきたのだからこれ以上悪くならないように考え行動するのが責務であり重要な時期になっています。

そこで、八重山のサンゴ礁の変化を知り現状の危うさを痛感してもらい、明日から誰でもサンゴ礁保全の行動できるようなことを紹介していきます。

【会場案内】



**事前申込
不要**

※注意事項※

室内におけるマスク着用にご協力お願い致します。
体調がすぐれない方はご参加いただけません。